

水素政策における重点取組案について

- ◇直近 3 回の総合エネルギー資源調査会／省エネルギー・新エネルギー分科会／水 素・アンモニア政策小委員会での議論をレビューする。
- ◇水素・アンモニア関連の市場・産業全体の成長スピードは減速しつつも、底堅い動向継続。日本の「水素・アンモニア社会実装に向けた当面取り組むべき課題」として、水素等市場の成長の取り込み(官民投資ロードマップ)の必要性が強調された。
- ◇水素・アンモニア政策全体として、(1)研究開発、(2)社会実装、(3)国際展開、の3柱を軸とした重点取組案および主な施策が示された。
- ◇中でも、商用車重点地域での水素トラック活用を起爆剤としてモビリティ以外の野でも水素需要を創出する「水素大動脈構想」は、水素の社会実装に向けた官民一体で取り組む動きとして注目される。

1. はじめに

エネルギーを取り巻く状況は、昨今のエネルギーに代表される急激な技術的進歩だけでなく、産業としてのエネルギー需要の増加や環境性についての考え方も刻々と変化している。水素・アンモニアについては、第 7 次エネルギー基本計画[1]において「2050年カーボネ

1. はじめに
2. 直近の水素・アンモニア読小委員会における議論
3. 重点取組案の概要
4. 「水素大動脈構想」および関連する動き
5. おわりに



この記事は、賛助会員・情報提供サービス購読者限定です。
お申し込み後、続きをご覧くださいのための閲覧用パスワードをお送りします。

賛助会員・情報提供サービス購読者の方は、
下のボタンから続きをご覧ください。

続きを読む

◆情報提供サービスのお申込みはこちら >

◆賛助会員については、こちらからお問い合わせください >